

# IHE認定技術者の役割と その試験

日本IHE協会 認定技術者試験委員会  
島西 聡

第43回医療情報学連合大会  
第24回日本医療情報学会学術大会  
COI開示

演題名: IHE認定技術者の役割とその試験

筆頭演者名: 島西 聡

私が発表する今回の演題について開示すべき

COIはありません。

# もくじ

- 認定技術者試験制度から4年
- 認定技術者の役割
- 認定技術者になるためには(試験制度)
- 認定技術者になってから

# 認定技術者試験制度から4年

ドメイン	合格者数
放射線(RAD)	12
循環器(CARD)	6
臨床検査(LABO)	5
病理(Path)	5
患者ケアデバイス(PCD)	7
ITインフラストラクチャ(ITI)	8

- 複数ドメイン合格者含む
- 合格者数は2021年度まで3年間の合計人数

- 受験者数:43名/4年
  - もっと多くの方に受験して頂きたいと考えております。
- 既に全ドメインに合格されている方:2名

RAD	CARD	LABO	Path	PCD
ITI	---	---	---	---

# 認定技術者の役割

- IHE普及のための人材育成
  - IHEが採用している規格(DICOM,HL7他)の概要を理解し、規格の融合範囲が説明できる
  - それぞれのドメインが規程していることを理解し、他人に説明することができる
  - IHEを医療現場で活用することを提案・構築・運用することができる
  - (ユーザー人材として)コネクタソン審査を行うことができる

# 認定技術者の役割

- 認定技術者としての知識
  - 分野別にIHE認定技術者として知っておいてほしい知識をまとめた「到達目標」を設定している
  - <https://www.ihe-j.org/QUALIFY/>
  - 到達目標には、項目と重要度(3段階)が記載されている
    - 重要度A:十分に理解すべき項目(説明できるレベル)
    - 重要度B:内容を知っている項目(理解しているレベル)
    - 重要度C:その他・補足事項

# 認定技術者になるためには

## ● 知識を身に着ける

### ● 養成セミナーの受講

- 2023年度は、**オンデマンド配信**による開催。
  - オンデマンド配信による講座では何度でも講座を聴講することになります。
- 配信期間：2023/11/17まで（2.5カ月間）
- 受講申込：日本IHE協会Homepage上に受講申込ページを掲載した  
  - <https://www.ihe-japan.org/eguide/event.php?eid=92>
  - 詳細は、Homepageの記載を参考にしてください
- 参加費用：3,000円(税込)

養成セミナーは終了しました

# 認定技術者になるためには

- 認定試験を受験する

- 試験実施日時

- 2023年11月18日(土) 13:00～17:00

- 試験会場(東京:全国家電)

- <https://www.jeass.com>

- 申込方法

- 日本IHE協会に申し込み
- URLは近頃

- 受験料

- 10,000円(クレジットカードを利用した支払い)

- 受験資

- 問わな

2023年度の試験は終了しました



# 認定技術者になるためには

## ● 試験科目

### ● IHE BASIC (2021年度、2022年度認定技術者は免除)

- 試験時間:60分

- IHE基本知識 (30問)
- DICOM基本知識 (5問)
- HL7基本知識 (5問)

### ● IHE分野(ドメイン)別試験(2分野まで選択可)

- 試験時間:60分/1分野(2分野受験時は120分)

- 放射線分野(RAD) (30問)
- 循環器分野(CARD) (30問)
- 臨床検査分野(LABO) (30問)
- 病理分野(Path) (30問)
- 情報技術インフラストラクチャ分野(ITI) (30問)
- 患者ケアデバイス分野(PCD) (30問)
- 内視鏡分野(ENDO) **New** (30問)

# 認定技術者になるためには

## ● 認定内容

### ● IHE-BASICに合格し、かつドメイン別試験に合格する

- ドメイン別認定技術者として登録される。

– 例

» RAD、CARDに合格した場合

- RAD認定技術者
- CARD認定技術者
- IHE-BASICのみ合格
  - IHE-BASIC認定技術者として認定する。

# IHE認定技術者になってから

- IHEを医療現場で活用することを提案・構築・運用を推進してください。
- それぞれのドメインが規程していることを、様々な場面で説明してください。
- IHE協会の各種委員会の委員としてIHEを推進することを手伝ってください。
- (ユーザー人材として)必要に応じて、コネクタソン審査を手伝ってください。

ご清聴ありがとうございました。

